

新年 明けましておめでとうございます。

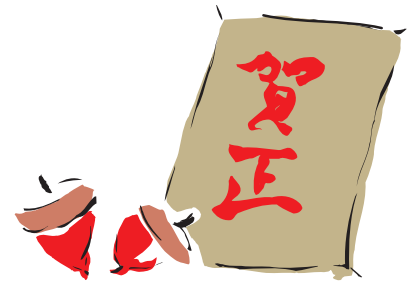
理事長 西田 良枝

去年は、震災後、新しい建物で初めてのお正月を迎え、4月からは浦安市身体障がい者福祉センターを指定管理者としてスタートさせ、地域活動支援センターともが開所5周年を迎えたと、いくつかの節目となる年でした。

震災の記憶はだんだんと薄らいでいき、この環境が当たり前のように感じてしまうこともある中で、折に触れ、震災で拠点を失っても仮の拠点で利用者さんにサービスを提供し続けることができたこと、たくさんの皆様のご支援で今の拠点に戻ることができたことを思います。

職員たちにも、「とも」のサービスを求めてくれる利用者さんや「とも」の在り方を理解し、ご支援してくださる人たちがいるから「とも」はあり続けることができるのだということを、そして、その在り方を創っているのはひとりひとりの毎日なのだという

年頭に改めて伝えたいと思っています。



皆様に支えられ5周年を迎えることができた「地域活動支援センターとも」も「とも」の在り方を示す事業の一つです。5周年の集いでは、地活を利用される利用者さんが登壇し、ご自身の仕事や生活ぶりをお話ししてくれました。(5周年の様子や地活の事業については、同封の地活新聞をぜひご覧ください)「とも」が地域活動支援センターを始めるにあたっては、厚生労働省の地域活動支援センターの先駆的・試行的推進事業に応募して1年間かけて研究をし、その在り方を決めました。地活では、今川センターと駅前センターほっぷの二つの拠点でいくつもの事業を行っています。

今川センターでは、障がいがある人の公民館的な役割、勉強したり、仲間を作ったり、余暇を楽しんだり、社会教育と言われる部分の入り口として利用してもらおう、そこで安心や自信が生まれ、結果、地域にある公民館を一市民として利用できたらいい…、そんな思いがありました。障がいがある人もない人もともに生きる街の姿です。

登壇した利用者さんは、自分は半引きこもりだったけど、地活で障がいがある仲間と出会い、趣味を見つけ、プログラムで様々な体験をし、ボラン

ティアさんたちと活動をし…と地活を利用する中で自信をつけ、今では地域の公民館の教室に通い、青春ストーリーをしていると話をしてくれました。いきいきと地域の中で共に生きている姿がそこにはありました。

一人の人を支えているのは、様々な資源です。私たちもその一つとして、人生に真摯に寄り添っていける事業を行っていきたいと思っています。

今年もよろしく
お願い申し上げます。



自立支援協議会活動報告

25年度の体制は前号でお知らせしたとおり、5つの部会と自立支援協議会の体制で運営されています。今回は上半期の全部会の主な取り組みを簡単にご紹介します。

権利擁護部会

バリアフリーハンドブックの周知、12月8日の障がい者週間記念イベントに向けての企画を行うとともに、成年後見制度と障がい者虐待防止センターの実績報告がされました。

こども部会

浦安市の障がい児等の支援体制について、こども発達センターの事業、まなびサポート、保育所等訪問支援の実施状況、障害児支援利用計画の説明などがありました。また、今年度浦安市が取り組んでいる「インクルーシブ教育システム研究事業」についての報告がありました。

相談支援部会

相談支援事業として指定を受ける上で各事業所が抱える課題をアンケートも行い把握しました。浦安市としてサービス等利用計画の評価をどのように行うか、話し合いを続けています。また、相談実務者会議の報告や、基幹相談支援センターの取り組みのご紹介もさせていただきました。

地域生活支援部会

実際の個別の相談事例から見えてくる地域課題（社会資源の不足など）をどのように解決していくのか、議論を進めています。

本人部会

本人部会は今年度から設けた部会です。広報浦安で公募された委員にご出席いただいています。障害を持つご本人自身が普段のくらしで不自由を感じていること、福祉行政への提案、地域の中で課題と感じていることなど、切実な意見が出されています。

【浦安市基幹相談支援センター】



パーソナル・アシスタンスともの原点

療育事業

～専門性の高い8つの療育で生活の質を高めます～

障がいをもつ子どもたち、発達に遅れのある子どもたちにも様々な体験や経験をする場が必要と考えて、イルカスイミングを始めたのが、20年も前のこと。水の力はどんな障がいの方にも有効だったので、参加者も多く、現在も継続している方も少なくありません。



当時浦安市の中には、障がい児の療育という事業はほとんどなく、必要と考えている親たちは遠方に通っていた状況。パーソナル・アシスタ

ンスともが特定非営利活動法人を立ち上げた時に、4つの療育も一つの大きな柱として位置づけ事業を開始してきました。その後もさらに4療育が増え、現在では8つの療育を継続して行っています。

今では、療育的視点をもった事業運営を求められている放課後等デイサービスや日中一時支援事業の制度ができ、国も療育の必要性を認めていることから、内容は変えることなく、今後は可能なかぎりとの療育事業も制度移行していこうと考えています。

パーソナル・アシスタンスともの療育の大きな特徴は、専門性の高い療育であること。講師のプログラムによ



って提供されるもので、一つ一つの目的が明確です。

イルカスイミングは重度身体障がいの方から軽度発達障がいの方まで気持ちの発散や情緒の安定、泳法の獲得も含め行っています。



造形教室は美術大学の専門講師により、筆に託す気持ちの表現から情緒の安定を図り、音楽療法も思春期の難しい中、高校生を対象に即興のピアノで気持ちのやり取りを行うことなどセラピー的な要素の高い療育です。また家族支援も含めたムーブメント療育、療育・手づくりパン教室、運動不足解消やコミュニケー



ション力もつけられる卓球教室、学校の勉強や一人一人の認知発達を促すクレヨン教室など、どれも本格的な療育です。

幼少期は色々な方向からの刺激や興味を広げることが必要ですし、思春期は親から離れて自分と向き合ったりイライ

ラする気持ちを発散することが必要です。青年期になれば余暇や楽しみをみつけて生活の質をあげること、日常をバランス良く過ごすことも大事なことです。興味のある方は体験や見学も随時お受けしています!!



後援会「とまと歩む会」のお知らせ

新年あけましておめでとうございます。
12月22日のクリスマス会には大勢の皆様にご参加頂きました。楽しんで頂けたでしょうか。
参加して頂いた皆様、お手伝い頂いた方々、ありがとうございました。

とまと歩む会では、10月に二つのイベントに参加しました。スポーツフェアでは天候に恵まれて人出も多く、賑やかな催しに。市民祭り

では日曜はあいにくの雨模様でしたが、楽しみながら販売とともにPR活動を行いました。
今年は皆様にとって、良い年になりますように。

「とまと歩む会」申し込み方法

- ◆年会費は 3,000 円です。
- ◆会員と賛助会員を選んで頂き、必ず振込取扱表の通信欄に明記ください。
口座番号・郵便振込先：00120-0-536557 / 名 義：中田光昭
- ◆会 員…時間があるときにお手伝いいただける方
- ◆賛助会員…お手伝い等出来ないがご寄付等の応援をしていただける方

発行：社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とま

〒 279-0022 千葉県浦安市今川1-14-52

〈編集後記〉

いよいよ冬将軍到来、インフルエンザやノロウイルスも
気になる季節となりました。皆様、コンディションを整え、
良い新年をお迎えください。